

# まちづくり、公共施設、公園の分野に分かれ、それぞれのテーマについて話し合いました！



「第4回次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」を、7月2日(火)に開催しました。

当日は、有識者協議会の山本副会長から、まちづくりについてご講演いただきました。また、今回からファシリテーターとしてセントラルコンサルタント株式会社が加わり、グループワークを行いました。

## 2020年代のまちづくりをどう考えるか

市民検討会の冒頭で有識者協議会の山本副会長より、「2020年代のまちづくりをどのように考えるのか」ということをテーマにご講演いただきました。講演では、これから10年、20年、また30年先を見据えたときに、どのようにまちづくりを考えたらよいのか、その中で市民の関わり方として、行政への要求型ではなく、市民が自分の事として捉え、主体的に直接関わることの重要性を提示されました。講演の後、担当者から、市が現在取り組んでいる公共施設マネジメントについての説明を行いました。

まちづくりを考えるときは、『イエス・アンド』の精神で「あ、それいいね」「じゃ、これは？」という足し算で考えることが大切なんだって♪



相模原市の人口は、2019年をピークに減少し、高齢化も進むので、次世代に過度な負担を残さない公共施設のあり方を考えていかなきゃ



### 2. 公共施設マネジメントの取り組み

これまで公共施設で提供していたサービスやあり方を見直し、施設に関するコストを減らしつつ、次の世代に過度な負担を残さず、より多くの方に必要とされ、喜ばれる公共施設のあり方を考えるための取り組み(公共施設マネジメント)が必要です。

**人口・社会構造**

- ・人口減少
- ・少子高齢化、生産年齢人口の減少
- ・コミュニティの希薄化
- ・格差社会問題 など

**老化**

**時代の変化・ニーズ**

- ・コンパクトシティ・ネットワーク
- ・ICTの普及
- ・高齢社会への対応
- ・子育て支援の充実 など

相模原市では、公共施設マネジメントの取り組みを進めるための方針や計画を定めています。

工夫しながら、時代に合った、相模原市らしい施設づくりを考えよう

今のままで良いのかな？

8

抜粋：相模原市における公共施設マネジメントの取り組み

### 【施設を見てみよう】～青少年学習センター～

青少年学習センターは、青少年(小学1年生から30歳までの人)に交流と活動の場を提供し、青少年の健全な育成を図ることを目的とした市内唯一の施設で、平成11年4月に神奈川県から移譲され開館しました。最寄駅は矢部駅ですが、図書館や大野北公民館と同じ大野北地区にある施設です。

り、小中学生が放課後に遊びに来ています。センターでは、毎年9月に「y(ワイ)フェスティバル」というお祭りを開催しており、利用登録団体が実行委員となって、ホールでの発表や模擬店を出したりしています。今年は9月8日(日)に開催します。ぜひ、お気軽にお越しください！

センターにはホールがあり、利用者が操作できる照明や音響の設備が整備されていて、演劇の発表会などで使用するほか、センターの事業でも使用されています。



また、ロビーでは自由に遊べるようにトランプやボードゲームなどの貸し出しも行ってお

<yフェスティバルの様子> <ロビーの様子>

## 良いところ（残すべきところ）

### 【まちづくりについて】

- ・生活必需品が購入できる店舗が多く色々そろっていて便利である。
- ・駅の近くに図書館などの市の施設がまとまっていて便利である。
- ・公共交通手段があって便利なおうえ、国道もあり車でも多方面に行ける。
- ・地区社会福祉協議会や商店会の活動が活発でコミュニティが作りやすい。

### 【各公共施設について】

- ・図書館では本に親しむ催しをやっている。
- ・視聴覚ライブラリーの機材は古いが、機能は必要。
- ・大野北公民館はよく利用されており窓口の対応もよかった。
- ・青少年学習センターは日ごろの活動などを発表する場所として使い勝手がよい。
- ・自転車駐車場は利用できる台数が多く便利。

### 【鹿沼公園について】

- ・駅から5分以内の場所にあり大変便利。
- ・皆の憩いの場で静かで落ち着くことができる。
- ・交通公園やS Lは公園らしさがある。
- ・災害時の避難場所として有効である。
- ・信号などがあり交通ルールを知ることができる。
- ・S Lは文化的価値として魅力である。

## 気になるところ（改善すべきところ）

- ・音楽を聴ける場所が少なく、映画館は無くなってしまった。
- ・施設の残すものと縮小するものを明確化すべきで、大きな商業施設は必要ない。
- ・地域のネットワークが不足している。
- ・色彩の統一感がない。
- ・子どもが増えているが通学路に危険な場所がある。

- ・大野北公民館は普段利用していない人がふらっと入りづらい。
- ・大野北まちづくりセンターは設備が老朽化して使いにくく、防災拠点としてはスペースが無い。
- ・あさひ児童館は、複合化すると効率的で多目的な利用や多様な子どもたちに対応できる。

- ・他の公園との役割分担ができていないのか。
- ・駐車場が少し狭い公園利用できない人も利用できるのは問題である。
- ・駅から近い公園としてイベント時など皆が安心して集まれる設備（ベンチ、トイレ、照明、飲食販売など）が必要である。
- ・見通しが悪く少し閉鎖的である。

次回の市民検討会では、今回のグループワークでの話し合いの内容を含めて発表し、有識者協議会の先生方から講評いただく予定です。

グループワークの様子



## 運営・検討支援業務の委託事業者が決まりました！

選考にあたっては、有識者協議会の先生方にも審査をお願いし、最も評価の高かったセントラルコンサルタント株式会社が委託事業者になりました。今回、セントラルの皆さんには、ファシリテーターとしてグループワークでの進行や最後に集まった意見の総括をしてもらいました。

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」に関する情報は、市ホームページでご覧頂けます。

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/machitsukuri/1015393/index.html>

市民検討会は公開で開催します。傍聴を希望される方は、詳細を市ホームページ等でご確認の上、お越しください。



次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関するお問い合わせ・ご意見は...

【公園について】 環境経済局 環境共生部 公園課（電話：042-707-7022）

【まちづくりについて】 都市建設局 まちづくり計画部 都市計画課（電話：042-769-8247）

【公共施設について】 教育局 生涯学習部 生涯学習課（電話：042-769-8287）

E-mail: jisedai-fuchinobe@city.sagamihara.kanagawa.jp